

中村版

かみきた通信

KAMIKITA PRESS

4月13日
(水曜日)

発行 地域おこし協力隊
中村達也
所在 道の駅2F
連絡 050-5005-1275

4月27日新たな門出を迎える



本年一月四日より進めていた道の駅レストランの再開作業もいよいよ大詰め段階に突入した。現在、食器や調理器具の配置を行いながら、メニューの試作に取り組んでいる。かみきた産のものを使って村をアピールしていきたいという思いで試行錯誤している。また店内装飾も並行してやりながらの忙しい日々が続いている。役場の方、村の方々、業者

レストラン再開作業も大詰め

基本コンセプト

誰でも気軽に立ち寄りくつろげる場所

つどいのま

“集いの間”

食事しながら、お茶飲みながら、
団欒できる茶の間のようなもの
村内外の交流も図れる場とする

の方々の協力を得てこころでやってこれた、ほんとに感謝していると協力隊の中村は語っている。間もなく新たな門出を迎えることになるが、初めてのことが多く、不安と期待が入り混じっている、温かく見守って欲しいとも語っている。

再び譲っていただきます。

前回は調理器具、食器等数々のものをお譲りいただき有難うございました。

今回改めてのお願いです。店内の座敷の一部を子供の遊び場スペースとして考えており、そこに設置するおもちゃや絵本等不要なものがあればお譲り下さい。合わせて店内が殺風景なので緑が欲しい、観葉植物もいただけるとのものがあればお譲り下さい。ご連絡は中村か地域振興

課まで。道の駅レストラン
〇五〇・五〇〇五・一二七五
度々のお願いばかりで大変恐縮ですがご協力の程宜しくお願ひします。

大台ヶ原マラソン in かみきたのご案内

左記の通り今年も開催されます。すでに定員はいっぱい。なんと今年からは5月21日の川上村のカヌーと連動しての開催となります。第3回のマラソン、今年もドラマが生まれることでしょう。

吉野熊野国立公園指定80周年
第3回 **大台ヶ原マラソン in かみきた**
奈良県上北山村 ハーフマラソン 標高差 約941m
【コース】スタート：白田道169号線充葉駅前付道→ゴール：大台ヶ原駐車場
(詳細は、大台ヶ原マラソンinかみきた)

平成28年5月22日(日)
午前7時受付開始 午前8時スタート 参加費 4,000円

先着 **300名** 申込期間：平成28年3月14日(月)～4月4日(月) 詳しくは、大台ヶ原マラソンinかみきた で検索！

【申込方法】
◆スズーエントリー
TEL 0570-550-846
URL http://www.sportentry.jp/event/14502
◆アプリによる申込
やまのびアプリ
TEL 0744-55-2221
詳しくは、やまのびアプリダウンロードページをご覧ください。
(※申込 無料)
◆上北山村支所(庶務係) 印
〒535-0206 奈良県上北山村 庶務係
TEL 0743-74-1111 (外線235)

【参加費】 4,000円以上 (平成28年5月22日当日受付)
【返 金】
マイカーもしくは公共交通機関
【応援/協賛】
大台ヶ原マラソン事務局
上北山村役所 地域振興課内
〒535-0201
奈良県吉野郡上北山村河合330
TEL 0746-82-0007 FAX 07465-3-0265
(受付時間：平日午前9時～12時・午後1時～9時)

【主催】アウトドアチャレンジズ実行委員会 【共催】 奈良県 上北山村 川上村 【協力】 上北山村地域活性化イベント実行委員会

奈良食祭大盛況で終わる

3月19日、20日の2日間、橿原公苑にて第5回奈良食祭が開催された。初日こそ雨でパツとしなかったが、2日目は風が冷たい中、たくさんの方が訪れた。鉄板でさばきながら焼く鹿と猪の焼肉は大人気で1、2を争う行列となった。2時間以上休むことなく焼き続けたお二人、本当にお疲れ様でした。新人協力隊の中村は揚げ場担当、レストランをやるだけあって、鹿の唐揚げと山のコロケを無難に揚げていた。合間には奈良のご当地アイドル「ゆいのら」とツーショットを撮って喜んでいた。何にでも興味を持つ男、次は何をする？



道の駅フォーラムに参加

3月10日あべのハルカスで道の駅フォーラムが開催された。道の駅は全国で1079駅、年間2億1000万人が購買されているとのこと。特に印象的だったのが大学との連携。実に61の大学が道の駅と協定を結んで、観光ツアーや企画や商品開発、POPやパンフレットのデザインなどに取り組んでいる。大学生としては学んだことを実践で研修する場として位置付けされている。同時開催の道の駅expo2016では奈良から針、大宇陀、大塔が展示され、特産品の販売や学生が作ったカレンダーの販売などが行われていた。なんと道の駅の歌があるのを知って、まじビックリしていた。

村の暮らし

早いもので村の暮らしも3カ月が経ちました。ようやく温かくなつて、桜やミツマタやいろんな花の景色の中で生活出来ることに喜びを感じております。

さて、今月は村の子供たちについて書きたいと思えます。3月5日に第11回市町村対抗子ども駅伝大会がありました。隣村の下北山との合同チームで時間などの制約の中で数少ない練習しか



出来ない中での参加でしたが、たすきをつなぎ33位での完走となりました。結果はさておき走る姿、笑顔、ほんとうみんないい表情していると感じました。村がそうさせているんだと。

3月16日は卒業式でした。かなり距離が近く温かです。親しみのある式だと感じました。中学生たちは親元を離れ高校へと通うこととなります。村では当たり前のこととともかもしれませんが15歳で自立、ほんとたくましいと思います。写真は式の前のワンカット。笑顔最高の子供たち、是非、高校生活をエンジョイして下さい。そして休みには村に帰って来て下さい。